



今日のキーワード 『街角景気』、駆け込み需要で上振れ

「景気ウォッチャー調査」、いわゆる『街角景気』とは、景気に敏感なタクシー運転手や小売店、メーカー、輸送業、広告代理店など、地域の景気の動きを敏感に観察できる立場にある約2,000人を対象とした調査です。9月の『街角景気』では、足元の景況感を示す現状判断指数（DI）は前月から大きく上昇する一方、先行きを示す先行き判断DIは低下しました。消費増税を目前に、予想以上の駆け込み需要があったとみられます。

ポイント1

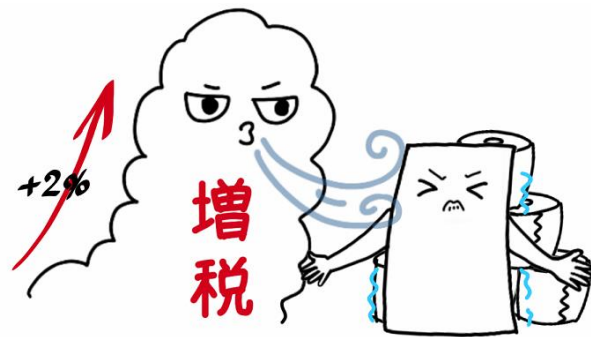
現状判断DIは前月比+3.9ポイントの46.7と大きく上昇 先行き判断DIは▲2.8ポイントの36.9と、14年3月以来の低水準

- 2019年9月の『街角景気』によると、現状判断DI（季節調整値）は前月比+3.9ポイントの46.7でした。上昇は2カ月連続であり、水準は19年2月以来の高さとなりました。項目別では、家計動向関連、企業動向関連が上昇しました。小売業を中心に、消費増税前の駆け込み需要が出た模様で、百貨店と家電量販店の上昇が目立ちました。企業動向関連でも駆け込み需要がみられました。一方、雇用関連は低下しました。
- 先行き判断DIは前月比▲2.8ポイントの36.9と、3カ月連続で低下し、前回の消費増税前の14年3月以来の低さとなりました。先行きに対する慎重姿勢が一段と強まったと言えます。全ての項目で悪化しており、消費増税後の需要の落ち込みや、設備投資関連の見積もり、中国市場関連の受注への懸念が示されました。他方、キャッシュレス決済のポイント還元への期待がみられました。

ポイント2

現状のコメントは「駆け込み」が急増 先行きは「節約」「不安」が増加継続

- 街角の声をより客観的に分析する、当社独自のテキストマイニングによる分析手法（*）によると、ウォッチャーの現状判断に関するコメントにおける単語の使用数は、「好調」、「良い」などのポジティブな単語がネガティブな単語を4カ月ぶりに上回りました。「駆け込み」が急増しました。
- 先行き判断については、ネガティブな単語がポジティブな単語を上回り、その差が拡大しました。「節約」や「不安」にかかわる用語が引き続き増加しました。



（*）テキスト（文書）をコンピュータで探索する技術の総称。典型的な例として、テキストにおける単語の使用頻度を測定し、テキストの特徴を統計的に分析・可視化することで、背後にある有益な情報を探ることができます。

今後の展開

“回復”に弱い動き、駆け込み需要の反動など消費動向に注目

- 内閣府は『街角景気』について、駆け込み需要が一部にみられることに言及した他は、「このところ回復に弱い動きがみられる」、先行きについては「消費税率引上げや海外情勢等に対する懸念がみられる」との見方を維持しました。9月の『街角景気』は、予想以上に駆け込み需要がみられ、反動減への懸念などから先行き判断は一層悪化しました。軽減税率の適用やポイント還元、政府の景気対策などを踏まえ、駆け込み需要後の反動など今後の消費動向が注目されます。

ここも チェック!

2019年10月7日 宅森昭吉のエコミックレポート 2019年8月分景気動向指数（速報値）
2019年10月4日 盛り上がるラグビーW杯の『経済効果』に期待

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。